

政策評価トピックス 第70号（2006年8月15日）

・岩手県：政策評価結果（18年度実施）

岩手県では、平成11年度に策定した県総合計画（11年度～22年度）の前期が終了したことから、これを総括することも目的とした「政策評価レポート2006（平成11～17年度実績）を取りまとめました。県総合計画に掲げる五つの社会の達成状況（「達成」と「概ね達成」の合計）は、「自然と共生し、循環を基調とする社会」が78.6%、「快適に安心して暮らせる社会」が76.5%、「創造性あふれ、活力にみなぎる産業が展開する社会」が54.2%、「ネットワークが広がり、交流・連携が活発に行われる社会」が63.6%、「個性が生かされ、共に歩む社会」が67.6%となっています。

農業関連の分野では、「グリーン・ツーリズム等の推進」は「概ね達成」となっていますが、「安全で健康な国民の食生活を支える農業の振興」や「生産と地域を支える担い手の確保・育成」は「未達成」となっています。

<http://www.pref.iwate.jp/~hp0212/seisaku/H18kekka/digest17.htm>

・栃木県：18年度政策マネジメントの現状評価

栃木県では、「とちぎ政策マネジメントシステム」を実施していますが、このほど、18年度の結果を取りまとめました。50の施策のうち、「目標達成に向けて順調に進んでいる（AA）」が1、「目標達成に向けて一部に遅れが見られるが、概ね順調に進んでいる（A）」が29、「達成状況はやや遅れている（B）」が18、などとなっています。

農業・農村関係では、「多様なニーズに対応できる強い農業の確立」と「いきいきとした農山村づくり」はAとなっていますが、「人と環境にやさしい農業の展開」と「農業を支える基盤づくり」はBとなっています。

<http://www.pref.tochigi.jp/kikaku/ma/hyouka18.html>

・熊本県：18年度政策評価結果

熊本県では、県庁内で行った1次評価と2次評価の結果を受けて、現在、評価結果についてパブリックコメントを実施しています。六つの重点施策については、達成度と県民満足度評価、統計評価が、また、58のプロジェクト（複数の事業で構成。17年度から実施）と313の事業については、達成度評価が行われています。

例えば、「個性化による魅力ある農産物づくり」プロジェクトでは、個性化を品種、栽培方法、品質管理、低コストの四つ方向で推進していますが、このプロジェクトは、「目標達成率100%以上」とされています。対応状況・方針として、引き続き、新品種や「くまもとふるさと野菜」といった個性化・こだわりのある農畜産物の普及拡大と消費拡大に努める、としています。

http://www.pref.kumamoto.jp/invited/opinion/seisaku_hyoka2/index.asp

・鹿児島県：2年間のマニフェストの進捗状況

鹿児島県知事は、知事就任に当たってマニフェストを明らかにしましたが、このほど知事就任からの2年間におけるマニフェストの進捗状況を取りまとめ、県民に報告しました。

「直ちにやる」ものの8項目はすべて直ちに実施したとし、「1年以内によるもの」の15項目のうち、1項目残っていた「食と農の先進県づくり大綱」は、18年3月に策定したとしています。また、「4年

間でやる」では、例えば、「食と農の先進県づくり大綱により、『かごしまブランド』の全国的な展開などを推進し、県内産出額の20%アップに取り組む（農業）」では、経営感覚に優れた担い手の育成・確保、畑地かんがい施設などの生産基盤の整備の推進、生産全体の拡大の推進などを実施しているとしています。

<http://www.pref.kagoshima.jp/home/kikakuka/manifesto/2year/2year.html>